

CO

みんなのいろいろが集まって、つながって、 広がって…さあ、co-enをたのしもう。

<co-enとは>

「co-en (コーエン)」は、多様な人が集い、さまざまなチャレンジが生まれるつくばの交流拠点です。多様な働き方や活動をサポートするワークスペース。地域で取れた食材を使った料理や世界、日本中のお酒が飲める、子どもから大人まで一緒に楽しめるカフェ&バー。さまざまな人がチャレンジできる場、多くの人が集まり交流が生まれるシェアキッチンやイベントスペースなど、つくばを拠点に成長する企業や活動する人々を応援します。

<想い>

つくば市は日本最大の科学技術拠点であるとともに、筑波山などの豊かな自然を有するなど、つくばならではの資源が多く存在しています。その中でもつくば駅周辺は、多様な機能が集積するとともに、ペDESTリアンデッキや多くの公園など他の都市には見られない緑豊かなゆとりある街並みが広がっています。つくば駅周辺では、それらの資源を最大限に活かしたまちづくりが進められており、つくばまちなかデザイン株式会社では、その実現に向け、「自分のものさしで多様なライフスタイルが選択できる新たなまちを創る」をビジョンに様々な事業に取り組んでいます。つくばセンタービルは、つくばの核となる施設として、磯崎新氏の設計により1983年に建設されましたが、求心力の低下等により、2017年からつくば市が中心となりリニューアルに向けた検討が進められてきました。弊社はその一環として、つくばセンタービルの一部をリニューアルし2022年5月にco-enをオープンしました。co-enは、つくば駅周辺及びつくば市内の様々な施設と連携することで、「まちなかの人と人、コトとコトをつなげるプラットフォーム」の核として、多様な世代がふらっと集い、やりたいことを応援しあう場所を創っていきます。

co — en

<ロゴデザインについて> by village®

coとenの間にある「-」は、空間や媒体の目的に応じて線の長さや角度が自由に変化します。空間では磯崎新建築によるグリッドの美しさが再認知されることを目論み、そこからずらすことで共鳴するよう線を引いています。このロゴをご提案する中で「星座」のようだ、という見立てもあり、確かに星座線は古代人が描いた一例であり、本来は誰でも星に自由に線を引き何かに見立てることができるものなので、そのように人と人、企業と企業が自由に線で繋がり、新たな何かが生み出されていくことを願います。

<ネーミングについて>

この場所は、「市民が共同で使うことができる場」と、「共に何かを作り上げていく場」であることから、英語で共同の意味を持つ、「co-」を使用しています。また、市民間の縁をもたらす共創をサポートする場にしたいという願いを込め、「縁」=「en」も付加しています。その2つの「co-」と「en」を組み合わせ「co-en」としています。日本語で読むと「こうえん」=「公園」となることから、公園のようにみんなが気軽に集える場という意味も込めています。

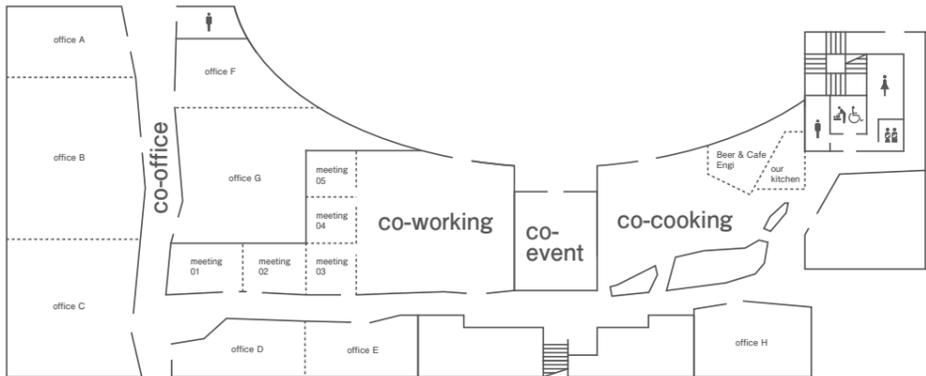
<設計意図> by / 360°

解体して現れた磯崎新氏による純粋な建築と共存する、新しい建築の形を目指しました。リニューアル前は垂直水平のグリッドで設計されていましたが、尾瀬の木道のように、既存の建築からずれたラインで空間を縫っていき、様々な用途の新たな空間を作っています。木道は小上りにして、幅を広げたり形を変化させることで、既存建築を楽しみながら、そこに集う様々な人々を繋ぐ新しい交流の場となるような設計としました。



<https://co-en.space/>
詳細はこちらから

en



co-enは6つの機能で様々なチャレンジを応援します。

<co-working / meeting>

ワークスペースであり、コミュニティスペースであり、ラボであり、教室です。アールステージのスタートアップ企業から、つくばの研究者、学生、子供から大人までさまざまな方が集まり、この場所を活用してまちに飛び出すさまざまなチャレンジが生まれるコワーキングを目指しています。どう使うかはあなた次第。様々なチャレンジをco-workingが支え、ここからつくばのまちなかに、日本に、世界に、飛び出すプロジェクトを生み出します。様々なビジネススタイルをco-workingが支え、今までとは違う働き方やライフスタイルを生み出します。

【co-workingの特徴】

1. 約295㎡、総席数84席（WEB会議ができる完全個室ブース4席、セミクローズブース7席含む）
2. 6人～30人にご利用いただける大小5つのmeeting room（会議室）
3. 「co-en」内の他機能との連携による総合的なチャレンジの場
4. 集中して仕事や作業ができるスペース、話したり交流したりするスペース、カフェのような雰囲気のあるスペースの3ゾーンに分かれ、その日の気分に合う座席を選択可能
5. 利用可能時間：24時間365日無人運営
6. 登記可能
7. 郵便受付可能な固定ロッカー
8. ウォーターサーバー、貸出モニター等の備品
9. 共用宅配ロッカー
10. 会員専用のホテル日航つくば特別プランあり。その他、市内他のコワーキング施設など様々な施設と連携予定

<co-event>

つくば駅前で様々なイベントができるまちなかのイベントスペース。様々な人がチャレンジできる場、多くの人が集つまり交流が生まれる場所です。イベントが無いときはco-workingとして使い、イベント時はイベント専用空間となるフレキシブルな空間です。

【特徴】

1. 約70㎡、約40人が利用可能
2. センター広場に直接出入りできるため、広場と一体的な使用も可
3. イベント実施時は扉を閉めて独立して使用可能
4. オンライン配信などのために有線LANや大型モニターを完備

<co-cooking（Beer & Cafe Engi / our kitchen）>

地域の食や世界中のお酒が楽しめるとともに飲食のチャレンジを応援する食の拠点です。

Beer & Cafe Engi

地域で取れた食材を使った料理や世界・日本中のお酒が飲めることもから大人まで楽しめるカフェ & バー。朝はちょっとした軽食、昼は地域の野菜たっぷり健幸ランチ、夜は世界・日本中のお酒が100種類くらい飲めるとともにこだわりのフードを提供します。

our kitchen

新たに飲食店をやりたい人や市内の飲食店などの出店、イベントでの使用など、食のチャレンジをする人を応援するシェアキッチン。

<co-wagon>

新たにお店をやりたい人や自分が作っている雑貨を売りたい、市内のお店のアンテナショップなど、様々なチャレンジを応援するワゴンです。

【特徴】

1. アンテナショップやチャレンジショップなど多様な使い方ができる
2. 移動ができるワゴンであるため、様々な場所に出店できる

<co-wall>

co-enの通路全体にアートが飾れ、アーティストの身近な活躍の場となるギャラリーです。高校や大学の展示会、個展、研究機関の案内など自由な発想で、自由な使い方ができます。

【特徴】

1. 誰もが通れるco-enの通路に面していて気軽にアートを楽しめる
2. 小上がりと壁を使って様々な飾り方ができる
3. カフェと通路の間には大きな小上がりがあり、多様な展示が可能

<co-office>

スタートアップ企業やつくばで活動する企業など、つくばで活動する人を応援するオフィスです。入居している区画だけでなくco-workingも使い多様な働き方ができるとともに入居者同士の交流も促進。

【特徴】

1. つくば駅から徒歩3分と利便性が高い場所で働ける
2. co-workingの施設が利用可
3. Beer & Cafe Engiやホテル日航つくば、市内他の施設と連携し、特別プランで利用可
4. 多様な人との交流ができる

<access>

co-en 茨城県つくば市吾妻1-10-1つくばセンタービル1F

by train：つくばエクスプレス秋葉原駅から最速45分 / つくば駅A3出口から徒歩3分

by car：常磐自動車道桜土浦ICから10分 / 圏央道つくば中央ICから10分

*co-en専用の駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

運営：つくばまちなかデザイン株式会社 / 問合せ：co-en@tsukumachi.co.jp